

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：カンボジア

日付：2010年3月31日

報告書名：平成19年度 JICA 草の根技術協力事業 完了報告書

平成19年度 JICA 草の根技術協力事業 完了報告書

2010年3月31日

事業名	カンボジア王国 小学校での図書館活動普及のための人材育成事業
事業対象地	カンボジア王国 シェムリアップ州
事業期間	事業期間：2007年7月1日～2010年3月31日
公的資金種別	草の根技術協力事業（支援型/パートナー型）
プロジェクト目標 および、達成度	「カンボジア教育省に図書館活動を管理運営指導する人材が育つ」を目的にこの事業を実施している。
これまでの 実施内容・状況	<p>(1) 図書館活動担当委員の TOR に沿った役割の遂行 図書館活動担当委員の役割分担のうち、教員マニュアル作成、研修会講師、モニタリング、評価は全員が参加して実施された。そのほかの関係局への通達、研修会参加者リスト、記録、報告書作成や全体統括はそれぞれの担当者が担当した。最後の研修会においては、研修会の準備、講師、記録、報告書作成、運営管理全てをチームとして実施することができるようになった。マニュアル作成過程で、項目ごとの担当を決め、研修会においても担当する項目を講義する方法をとったため、研修内容については9名全員が全ての項目において理解度は同じではないが、本事業を通じ知識と技術を身に付け、研修会開催のノウハウを身に付けた図書館活動担当委員は、マニュアルを活用し、全員が外部で開催される図書館活動に関連する研修会に招かれ、講師を務めている。</p> <p>(2) 図書館活動担当委員が独自に研修会と評価を実施 図書館活動担当委員9名全員が、教育省主催および NGO との連携による図書館活動に関する研修会の実施に関わった。</p> <p>(3) 図書館活動担当委員の指導書の活用と理解度 図書館活動担当委員9名全員が、指導書（図書館活動教員マニュアル）の原稿作成から、校正、最終版の編集に関わった。ドラフトを作成し、研修会とモニタリングで使用し、フィードバックを受け、マニュアル最終版を作成した。2010年2月に開催された「全国図書館活動報告会」においては、図書館活動担当委員によりマニュアルの紹介がなされた。</p> <p>(4) 指導書の利用状況の整備 マニュアルの配布計画の作成にも携わり、最終的に 3,050 冊の指導書が作成され、教育省、全州・郡の教育局、教員養成学校に配布された。</p>

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：カンボジア

日付：2010年3月31日

報告書名：平成19年度 JICA 草の根技術協力事業 完了報告書

成果	<p>(1) 図書館活動普及のために教育省各局の役割が明確化される</p> <p>全部で23回開催された作業部会の内容を見てみると、最初の2回で図書館活動担当委員が参加して作業部会内の各担当員の役割分担が討議され、自主的に決定された。そして、各自がそれぞれの役割分担を自覚したうえで、各研修会、モニタリングなどの活動のプログラム、役割分担などの事前打合せを行った。また、図書館活動担当委員全員が作成にかかわった図書館活動教員マニュアルの編集会議は、23回開催した作業部会のうちの12回行われた。尚、作業部会の記録は第4回目以降においては出席者各自で記録することになった（マニュアル編集会議においては、決定事項はその場でマニュアルを修正し反映させた）が、各研修会の報告書は担当員が分担して記録し、責任者がチェックした後、各自にコピーを配布した。以上のことから、成果1においては、図書館活動普及のために教育省各局から選抜された図書館活動担当委員の役割が明確化されたといえる。</p> <p>(2) 図書館活動を普及させる州図書館トレーナーが育成される</p> <p>12回にわたる研修会と中心校57校を対象にした4回のモニタリングに参加したことによって、2007年8月の事業開始時と2010年1月の最終モニタリング・評価結果を比較すると、州図書館トレーナー6名の図書館活動の指導能力は大幅に向上した。研修会の参加者への連絡、事前準備、開催、記録作成なども問題なくできるようになった。</p> <p>また、モニタリングに関しても、対象校への事前連絡、スケジュールの調整、モニタリングにおける聞き取り、記録、技術指導などが問題なくできるようになった。</p> <p>さらに、2009年、プノンペンで開催した全国図書館活動報告会に図書館トレーナー6名全員が参加し、運営、記録作成、報告書の作成を図書館活動担当委員と協力して行い、全国図書館活動報告会の開催のノウハウを学んだ。</p> <p>翌年、2010年は図書館活動担当委員と協力して、シェムリアップでの全国図書館活動報告会を開催することができた。また、同報告会で行った各州の図書館活動についての成果発表を通じ、学校間および州間での図書館活動の知見の共有の重要性を理解した点も今後の図書館活動を推進する上で大きい。</p> <p>以上のことから、シェムリアップ州の図書館トレー6名全員が育成されたといえる。</p> <p>(3) モデル地域での実地訓練を通して教育省の図書館活動担当委員が育成される</p> <p>12回にわたる研修会と中心校57校を対象にした4回のモニタリングに参加したことによって、2007年8月の事業開始時と2010年1月の最終モニタリング・評価結果を比較すると、図書館活動担当委員9名の図書館活動の指導能力は大幅に向上した。このほか研修会においては開催、記録作成なども問題なく</p>
----	---

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：カンボジア

日付：2010年3月31日

報告書名：平成19年度 JICA 草の根技術協力事業 完了報告書

	<p>できるようになった。</p> <p>また、モニタリングに関しても、聞き取り、記録、技術指導などが問題なくできるようになった。</p> <p>さらに、2008年、2009年とプノンペンで開催した全国図書館活動報告会に図書館活動担当委員9名全員が参加し、運営、記録作成、報告書の作成を行った。また、2010年にはシェムリアップで州図書館活動トレーナーと協力して全国図書館活動報告会を開催した。</p> <p>以上のことから、図書館活動担当委員9名全員が育成されたといえる。</p> <p>(4) 図書館活動のための教員マニュアルが開発される</p> <p>図書館活動担当委員9名が中心となってまずマニュアルのドラフトを作成。ワークショップを開いてSVAがこれまでに図書館活動を支援してきた11州の図書館活動関係者各6名計66名の意見を聞いて追加・修正。さらに、本事業対象地での研修会、モニタリングで実際に使用、フィードバックし、約2年をかけて最終版を作成した。</p> <p>全8章226ページよりなる本マニュアルは、図書館のマネジメントと様々な図書館活動を具体的に詳しく説明したもので、実際に図書館活動を担当する図書館員、教員やインストラクターのための極めて実践的な手引書となっている。</p> <p>よって、当初11州の州・郡教育局、教員養成学校、中心校へ3,000冊を配布する予定であったが、教育省より24州全州へ配布してもらいたいとの強い要望により、11州への配布数を減らし、全部で3,050冊印刷することとした。本年1月よりまずシェムリアップの中心校に各3冊ずつ配布したが、すでに図書室のある衛星校がこれをコピーして使っていることから必要性は非常に高いと言える。</p>
教訓・提言	<p>【案件形成、計画時】</p> <p>1. PDMの指標</p> <p>上位目標の3つの指標のデータのうち2つが入手できなかった。事前に関係部局と連絡を取り、担当者を押さえておく必要があった。</p> <p>2. ベースライン調査</p> <p>活動開始前に全対象校を回ってデータを収集した。そのため、活動開始前と後との比較が可能となった。モニタリングのためにも事前調査は不可欠である。</p> <p>3. 図書館活動教員マニュアル普及のための全国研修会</p> <p>図書館活動教員マニュアルの作成、印刷、配布は計画に含まれていたが、普及のための研修会は計画されていなかった。教育省からは教育省の関係部局並びに全国24州の州教育局関係者を招へいし、プノンペンでの全国研修会開催の強い要望が出された。本事業で作成された同マニュアルが教育省のスタンダードとして普及するための重要な第1段階として、当初より全国研修会を計画の中に入れておくべきであった。</p>

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：カンボジア

日付：2010年3月31日

報告書名：平成19年度 JICA 草の根技術協力事業 完了報告書

**【事業実施時】**

1. カウンターパートとの協力体制と役割分担

本事業の実施にあたっては教育省の図書館活動担当委員とシェムリアップの州図書館トレーナーの2つがカウンターパートになった。両者に対して良好な協力関係を築くことができたが、両者の能力強化が事業の目的であったこともあり、事業の前半では研修会、モニタリングにおいて時に両者の役割分担が重複、混乱することもあった。

また、モニタリングには郡教育局も参加しているので、今回の取り組みを生かして、教育省、州・郡教育局、さらにクラスター長、中心校の校長・図書館員など、図書館活動における関係者の役割分担を明確にし、今後の活動、研修会やモニタリングなどに生かしてゆくことが必要である。